

「この街、を感じて
私の父は筋金入りの年季の入った巨人ファ
シだ。私も小さい時から毎日の様にTV中継
を見せられた。勝てば勝利の美酒、負ければ
ヤケ酒を飲む父。通勤で大阪に引っ越せば
阪神電車に乗って甲子園通り、松山に戻れば
フエリーに乗って広島球場へと家族中で大移
動。勝利に一喜一憂してそれなりに楽しいの
だけけれど、いつも少し違和感があった。
そんな父からも独立し、結婚、出産、そし

て子育てに忙しい日々を送っていたある日の
こと、子どもを遊ばせようと思っただア
イテムえひめに、見慣れぬハリボテのような
みかんが！（：のちのオレくんでした）
「愛媛にJリーグをL貰ったチラシにはそ
う書いてあります。（何？ナニ？愛媛にサツ
カイチームができるの！？）ドキドキがとまり
ませんでした。研部で見た日本代表、鹿島、
広島の試合では感じなかった感情がどんどん
湧き上がってきて、それは私の中の地元への

愛だっただのと確信しました。

自分の住んでいるこの街、家族と共に生きて
いるこの街で、愛媛FCというチームを応援
できる喜び、日々感謝するばかりです。

小さい頃はちよつとイヤだった父のDNA
をしっかりと引き継いで、今日も私は愛媛FC
を応援します。

松山市在住

女性

44才

観戦歴7年目